

西小は 大きな 家族

# Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年 7月3日 (水) No.20

発行人

学校の田の草とりをしなくちゃな  
あ～の川崎先生。でも天気が☂(+o+)

## ◆保健集会6/26 (水) ◇

・「睡眠の大切さ」・人間は眠ることによって成長している。だから正しく睡眠しないと健康が保てない。うん、良く理解できたよ。みんなセリフを覚えて、眠そうな演技の二人の4年生もナイス。衣装（眠りの神様良かったよ）も作って、楽しい中にとっても勉強になった。一番ちっちゃな白衣の先生も良かったよ。クイズも正解の○が磁石で貼りつくようになっていたり、細かいところまでよく練られていたね。グッジョブ(^)v。

## ◆親子学習会 by「ぴっかり高木といしいそうたろう」7/1 (月) ◆

あやめホールって、こういう時になんと適した場所なんだろう。難を挙げるとするとエアコンが無いことぐらいか。

ぴっかりさんといしさんが、かねてより山梨県に住みます芸人として活躍していることは周知の事実である。そんな方々が西小学校に来てくれたこともすごいが（PTA 会長のおかげですく( \_ )>>）、子どもたちや保護者そして地域の方々含め、この会場での見事な一体感は西小ならではだろう。

以下はぴっかり高木さんのfb（フェイスブック）から抜粋

「子どもたち、45分間ずっと真面目に聞いてくれて、盛り上げるところは盛り上がってくれて、スゴイ楽しかったです。印象的なのは、ゲームのルールがわからない子がいたのだけど、それに気づいた子が、学年性別関係なく駆け寄ってきて声をかけていたところ。素晴らしい学校だと思いました」

彼らも迷ったにちがいない。大人向けに話をするならもっと簡単だし、単なる受け狙いならプロ中のプロだ。しかし小学校1年生から大人までの年齢の幅の中で、全員に話が伝わるにはどうしたらいいのだろうか？と。

終わった後に彼らがこうも言っていた。「感想発表にあんなに多くの手が挙がると思わなかった。これは驚き以外の何ものでもないし、その内容も素晴らしかった」と。特に「自分が楽しいと感じたことに自信が持てるようになった」という感想には感激した」と。

お笑い芸人というとなんな人たちなのだろう？と思っちゃうけど、年がら年中お笑いやってるわけじゃない。校長室で会話していると、結構二人ともまじめ。むしろ会長さんの方が芸人らしかった(^\_^)。甲府駅北口にピアノを置くという取り組みも(※)、山間部のおじいちゃんおばあちゃんが作った野菜と、はね出しの果物をぶつぶつ交換するというアイディアも、地域をまじめに愛するが故の取り組みだし、素直に応援したい。

お二人とマネージャーさん、三人が三人とも自分の車で来ると言う、まさにローカル色バリバリでした(^\_^)。お二人は車も同じ車種。まさにコンビですね(^)v 今度は懇親会の席に呼びたい。あっ、決して闇営業じゃないですよ(^\_^)

※PS 甲府駅北口へのステーションピアノ設置。誰でも自由にと。興味のある人は是非どうぞ。そこでショパンとか弾けたらカッコいいなあ。(うーん、川崎には、そこでカエルの合唱を弾く勇気がない・・・)